

殺虫剤

第 18131 号

サニーフィールド® 乳剤

種類名：エトフェンプロックス乳剤

特長

- 人や動物に対して選択性の高い殺虫剤で芝の害虫防除に適しています。
- 速効性と残効性に優れています。
- 各種芝草に対して選択性があり、今までの試験では薬害は認められていません。

【有効成分】 エトフェンプロックス(PRTR法第1種-64号)30.0%

【その他成分】 エチルベンゼン(PRTR法第1種-53号)

キシレン(PRTR法第1種-80号)

【性状】 淡黄色澄明可乳化油状液体 【毒性】 普通物※ 【危険物】 2石-IV

【有効年限・包装】 4年・500mL×12

※普通物：「毒物および劇物取締法」(厚生労働省)に基づく、特定毒物、毒物、劇物の指定を受けない物質を示す。

サニーフィールドは日産化学工業(株)の登録商標です。

適用病害虫・使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	エトフェンプロックス
芝	スジキリヨトウ シバツトガ タマナヤガ	1000~ 2000倍	発生初期	3回以内	1m ² 当り0.3L散布	3回以内
	ケラ				1m ² 当り1L散布	
	シバオサゾウムシ成虫				1m ² 当り3L散布	
	コガネムシ類幼虫				1m ² 当り0.5~1L 土壌注入	
さくら プラタナス	アメリカシロヒトリ	3000倍		6回以内	散布	6回以内

■については有効成分を含む農薬の総使用回数を示すものです。

使用上の注意

- (1)使用量に合わせ薬液を調製し、使い切ること。
- (2)コガネムシ類(幼虫)に対して土壌注入処理をする場合には農薬の高圧噴射できるインジェクターを使用すること。
- (3)蚕に対して長期間毒性があるので、近くに桑園がある場合には絶対に桑葉にかからないようにすること。
- (4)ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意すること。
 - 1.ミツバチの巣箱及びその周辺に飛散する恐れがある場合には使用しないこと。
 - 2.養蜂が行われてる地区や受粉等を目的としてミツバチ等を放飼している地区で使用する場合は、関係機関(都道府県の畜産部局や病害虫防除所等)への連絡を徹底し、ミツバチ等の危害防止に努めること。
- (5)本剤は自動車などに散布液がかかると変色する恐れがあるので、散布液がかからないように注意すること。
- (6)本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

人畜に有毒な農薬については、その旨及び解毒方法

- (1)原液は眼に対して強い刺激性があるので、散布液調製時には保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けること。
- (2)原液は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意すること。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすこと。
- (3)散布の際は手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。また、散布液を吸い込んだり浴びたりしないよう注意し、作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをする。

水産動植物に有毒な農薬については、その旨

- (1)水産動植物(魚類)に強い影響を及ぼす恐れがあるので、河川、湖沼及び海域等に飛散、流入しないように注意して使用すること。
養殖池周辺での使用は避けること。
- (2)水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないように注意して使用すること。
- (3)使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきる。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。
また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

引火し、爆発し、又は皮膚を害する等の危険のある農薬については、その旨

危険物第四類第二石油類に属するので、火気には十分注意すること。

貯蔵上の注意事項

火気を避け、直射日光が当たらない低温な場所に密栓して保管すること。